

## わらべうた講座

## こどもに届けるわらべうた

講師：宇野 由美子

(わらべうたの会ちゅっちゅここの部屋主催)

今日は子供たちがとても喜び、楽しんだわらべうたをお伝えしたい。

## 1 はじめのわらべうた

## ♪「ろうそくパツ」

伝承なのでどこかで振付や音が違うことがあるが、それは仕方がないこと。ただ、同じ場所で、人によってやり方が違うと子供が混乱するので、統一するようにしてほしい。

このうたで大切なのは、ろうそくを付けるとき、ろうそくの人差し指をちゃんと見ること。わらべうたを伝える時は、ゆっくり、なるべく高い声で5回は繰り返すこと。ざわざわする教室でも静かになる魔法のわらべうた。

## ♪「いちじくにんじん」

## ♪「ももももももも」

どれを食べる？とたずね、食べた歌詞の部分は歌わない。どんどん食べていき最後は無言の中、動作だけが残る。ひとつずつ食べていくという緊張感で静かになっていく。

読み聞かせ：『いちじくにんじん』大阪YWCA千里子ども図書室／案（福音館書店）

## ♪「一本と一本で」

指同士を叩く時、体の前でやるのと耳元でやるのでは違う。耳元で鳴らし聴く姿勢を見せる。1本ずつ増えて音が大きくなっていき、5本から1本に戻した時、静かになっている。

## ♪「めがね まくら ちゃつぽ せんこう」

子供が動作の真似をするときミラーになるので、左右のあるしぐさに注意。1曲終わるごとにリズムを速める。うたの途中で速めない。最後は、元のゆっくりしたリズムに戻っ

て、線香の人差し指を口元に持っていき、「しーっ」とすると、静かになる。子供たちを引き付けながら、本の世界に入っていくはじまりのうたの紹介。



## 2 いろいろなわらべうた

## ① どっちの手に入っているか

## ♪「おてぶしてぶし」

## ♪「どんぐりころちゃん」

あてっこするのが子供たちはとっても大好き。わらべうたは実践を重ねないと身に付かないので、どんどんやってほしい。

## ② かぞえうた

## ♪「いも いもにんじん」♪「いものたの」

パネルを使い、出てくる野菜の絵を貼りつけたり、一つずつ絵を出せる巻絵のような小物を使用。このような物を持つてると便利。小学校でこれらをやると、その後ずっとお経のように唱えている。お手玉を使って1個ずつ積み上げていく遊びもできる。

## ♪「一代さんは」

福島の方に教えてもらったわらべうた。しぐさが楽しいので、1才児も真似をしようとする。歌詞の替え歌をしてもいい。当日、「十代さんは」のところ「じゅうたんを持って」と、参加していた子供から声があがった。本当に子供はいろいろ発想力があってすごい。

語呂合わせは覚えやすく、楽しみながら覚えていくことができる。

## ③ 言葉遊び

♪「きびだんご」「アナシンと五」の前にやると良いうた。算数の遊びなので小学校の先生に喜ばれる。小学生からおすすめ。

♪「わしのうちのわしの木に」わし(私)とワシ(鷺)の違いが面白い。鳥を扱った本の前に。

♪「イモニメガデテ」『どんどこどん』和歌山 静子／作（福音館書店 2011）や『おおきなおおきなおもい』赤羽末吉／さく・え（福音館書店 1972）の前に。

#### ♪「カクカクカクレンボ」

筒からカラフルな布をどんどん出しながらかや、筒に隠れた人形を出し入れしながら歌う。言葉の響きが楽しく心躍るうた。小物がなくてもしぐさ遊びで楽しむこともできる。



#### ④ 詩で遊ぼう

##### ♪「ほっぺたのはらに」

お母さんが赤ちゃんの顔をさわりながら。幼児からは自分の頬、おでこ、鼻と人差し指でつつきながら。雨の日や季節におすすめ。

##### ♪「てはふたつ」♪「ぶたがぶたれた」

##### ♪「わんわんほえるの」

詩を唱えながら手遊びを。手作りの手袋人形を使用して見せると喜ぶ。「ぶたがぶたれた」は赤ちゃんの足の指をつまみながらでも。

#### ⑤ 首・肩の運動

じっとしているのに疲れた頃、運動として導入。ちょっとした運動で体も心もほぐれる。

##### ♪「バイエル13番あげたりさげたり」

##### ♪「どうどうめぐり」

#### ⑥ 年長児・学童向き

##### ♪「なかなかほい」

手足を使って、なかとそとを表現。

##### ♪「べんけいが」

仕草がむずかしいが覚えると、とても楽しい。グループに分けて、輪唱して遊べる。

##### ♪「スッテンテレツク」

手で天狗、おかめ、ひよっこ、はんにやを表現。スピードを速めていくと大喜び。

#### ⑦ 季節（クリスマス・お正月）

♪「ととけっこう」で12月なので寝ているサンタクロースを起こしてあげましょう。

##### ♪「あーかいきものサンタクロース」

##### ♪「ゆきふるしろい」

綺麗な音のメタルフォンを使いながらの輪唱。歌ってからサンタクロースの本へ。

##### ♪「正月三日のもちつきは」

円になった状態で隣の人の手のひらでもちをつく。または向かい合って二人で、一人で両手の親指と人さし指を使ってでも遊べる。

##### ♪「三段の重箱に」

最後のモヤモヤモヤには意味はないが、響きと仕草がとてもおもしろいうた。

読み聞かせ：『ひらく』平野恵理子／作（福音館書店「こどものとも 年少版」2006年5月号）

#### 3 おわりのわらべうた

##### ♪「ろうそくフツ」

本物のろうそくを使うことが少ないので、まず、フツと吹き消すことを教える。

##### ♪「もどろもどろ」

輪になり、前後に動く。幼児だと一步を大きく踏み出すので、「少しずつ動いてね」と先に言うておく。



##### ♪「さよならあんころもち」

小さいもちの時は小さい声で歌う。二人向かい合って片方を送りだす遊びもできる。

人と人をつなぐわらべうた。子供たちにたくさん歌ってあげてほしい。